



ひらどだい

令和3年度 学校だより 1月号 横浜市立平戸台小学校 校長 藤巻 孝之



平戸台の壬寅

校長 藤巻 孝之

明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

今年の干支を聞かれると「寅」と答えてしまいがちですが、正しくは「壬寅（みずのえとら）」が正しいそうです。干支は10種類の「十干」と12種類の「十二支」を組み合わせで作られる60通りの年の呼び名を指します。60年を1サイクルとして数えた時に60歳を迎えた年を還暦（暦の上で干支が一回り）と呼ぶのはそのためです。

諸説ありますが、「壬寅」には「妊」に由来した「誕生」の意味と「演」に由来した「人の前に立つ」の意味から、「新しく立ち上がること」や「生まれたものが成長すること」という前進する意味をもたせることがあるようです。「壬寅」は今年の平戸台小学校を象徴しているようで、嬉しくなって元気が出てきます。

【壬寅平戸台その1～視聴覚室の復活】

本校の3階にある視聴覚室は開かずの間となっていました。床一面に貼ってあるカーペットが経年劣化により害虫（ダニ）の温床となってしまう、4年前、学校薬剤師から事実上の使用禁止が宣告されたからです。なんとももったいない話です。しかし、床の全面改装が今月中に実施されることになりました。2月からは防音設備も整った視聴覚室の使用が解禁となります。メダカ池、プール、流水実験装置（憩いの場）に続く本校施設の利活用の推進が、また一歩前進します。今後は子どもたちが集会をしたり、各種説明会を開催したり、PTA活動に活用していただいたりすることもできます。

【壬寅平戸台その2～新中期学校経営方針（三か年計画）策定】

全横浜市立学校に該当することではありますが、2022年から3年間を見通した経営方針を提示します。もちろん合言葉「ひらりん cha-cha-cha～学びのチャンス・可能性にチャレンジ・自信と元気をチャージ～」が原動力となります。正式には新年度を迎える4月にお示しさせていただきますが、cha-cha-chaしながら実現させていく学びの具体を「3つの感」で表そうと考えています。「感動～本物に触れることができる体験的な学び」「感謝～台小サポーターズによる安全で充実した学び」「実感～き（気付く）よ（寄り添う）う（受けとめる）し（信頼される大人になる）つ（繋ぐ）による安心な学び」です。まだまだ粗削りな状態です。学校評価アンケートやまち懇、職員による振り返りなどを反映させながら形作っていかうと思います。

【壬寅平戸台その3～学校運営協議会の設置】

学校運営協議会は全横浜市立学校で設置が義務付けられているものです。設置の方法はさまざまですが、本校ではまち懇に代わる組織として4月1日付で設置となります。平戸地区連合町内会会長や民生委員児童委員協議会会長、平戸中学校校長や学校地域コーディネーターなど9名の方に委員を引き受けていただく予定で、学校経営方針の承認や学校運営への参画などを主な役割としながら、まちぐるみで子どもたちをはぐくんでいきます。学校運営協議会が台小サポーターズ（地域学校協働本部）と両輪を組み、地域や保護者の方々が日常的に子どもたちや職員とかわりあいがら、ひらりん cha-cha-cha を駆動させていくことで平戸台らしい学びを作っていきます。

今年も子どもたちの健やかな成長をともに支えていきましょう。よろしくお願いいたします。